

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/16		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587036901	科目番号 / Subject code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	谷口 弘一 / Taniguti Hirokazu		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taniguti nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館215番研究室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	毎週金曜日14:30-15:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	カウンセリングとソーシャルサポートを有機的に結びつけ、効果的な援助を提供する方法について理解すること。		
授業到達目標/Course goals	フォーマルなサポートであるカウンセリングとインフォーマルなサポートであるソーシャルサポートについて説明できる(1, 2, 3, 5, 8, 10)。学校・家庭場面において、効果的な援助が提供できるようにする(1, 4, 5, 6, 7, 8)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験50% 発表・討論・実習への貢献30% 課題レポート20% この他に、授業で募集する実験や調査などへの参加による学習、もしくはそれに替わる課題なども評価に加味する。 合格基準は全体評価の60%以上		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	予習・復習では、教科書はもとより、新聞、インターネット、専門書、学術論文など多くの情報源に当たって、講義内容に関する理解をさらに深めてほしい。		
キーワード/Key word	カウンセリング, 心理アセスメント, ソーシャルサポート, グループワーク		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	カウンセリングとソーシャルサポート???つながり支えあう心理学? ナカニシヤ出版		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	授業外学習(週平均約2時間)		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)	心理アセスメントやグループワークなどの効果を最大限得るために、受講人数を一定数に制限する場合がある。また、心理アセスメントやグループワークの内容および実施回数を、受講人数に合わせて調整する必要があるため、第1回目の講義の際に、確定した講義内容をあらためて説明する。受講を希望する学生諸君は、その説明を聞いた上で、最終的な履修登録の判断を行ってほしい。		
学生へのメッセージ/Message for students	可能な限りアクティブラーニング形式となるようにしたいと考えているので、学生諸君の積極的な授業参加を期待している。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション
第2回	カウンセリングとは何か：定義・歴史・効用
第3回	カウンセリングとパーソナリティ
第4回	カウンセリングの理論と技法(1)：クライアント中心療法
第5回	カウンセリングの理論と技法(2)：行動療法
第6回	カウンセリングの理論と技法(3)：認知行動療法
第7回	カウンセリングの理論と技法(4)：精神分析療法
第8回	カウンセリングと心理アセスメント(1)：知能検査
第9回	カウンセリングと心理アセスメント(2)：性格検査
第10回	カウンセリングと心理アセスメント(3)：職業適性検査
第11回	カウンセリングとサポート活動
第12回	ソーシャルサポートとは何か：理論的導入
第13回	ソーシャルサポートと発達
第14回	学校・家庭場面におけるカウンセリングとソーシャルサポート
第15回	カウンセリングとソーシャルサポートの抑制要因
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587037301	科目番号 / Subject code	05870373
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12321_006		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (文学と社会) / Literature and Society		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟11 / RoomA-11		
対象学生 (クラス等) / Target students	カテゴリー「変容する環境とリテラシー」, テーマ名「17-A14 教育と文化」受講生		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kenhorii_nu_outlook.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館 6階 611 番研究室		
担当教員TEL/Tel	kenhorii_nu * outlook.com (*の箇所に@)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日午後, 木曜日 3校時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	主題は西洋の古代ギリシアの歴史です。教養としての古代ギリシアの社会・文化についての知識を学びます。外国の歴史を学ぶのは外国語文献を読むことから始まりますから、皆さんには英語の絵本のようなものを翻訳してもらいます。その作業によって「知ること」に対する態度を養います。翻訳で内容を理解した上で古代ギリシアの社会や文化の特徴を学びます。そこから現代社会にまで受け継がれる文化や教養の特徴を考えます。		
授業到達目標/Course goals	古代ギリシアの政治または文化の特徴を自ら学び考え、現代社会と比較しながら説明できるようにする (?G, ?I, ?K, A, B)。英語による歴史叙述を読んで理解することができる (?A, ?G, ?H)。グループ内外で各種問題点に対する意見, 考えを伝達しあいながら他者と協働をすることができる (?J, ?A, ?B, ?C, ?D, D)。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	古代ギリシアに関する教養的知識の小テスト (40点), 翻訳文レポート (20点), プレゼン P P T (15点), まとめレポート (25点)。合計100点のうち60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	配布資料の英語文を予習として翻訳をしておく。事後に翻訳文, プレゼン P P T ファイル, まとめレポートをLACSで提出する。		
キーワード/Key word	古代ヨーロッパ, 歴史, 文化, 英語圏の子供向け教材		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書: P. レベック『ギリシア文明?神話から都市国家へ』創元社。参考書: 伊藤貞夫『古代ギリシアの歴史』講談社, 山本茂他『西洋の歴史〔古代・中世編〕』ミネルヴァ書房, 周藤芳幸『図説ギリシア?エーゲ海文明の歴史を訪ねて』河出書房新社, N. スパイヴィ『岩波 世界の美術 ギリシア美術』岩波書店, 逸身寛一郎『ソフォクレス『オイディプス王』とエウリーピデース『バツカイ』?ギリシア悲劇とギリシア神話』岩波書店。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。授業外学習に週平均 2 時間以上を充てること。ノート P C 必携。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	初回に予習の仕方について案内文書を通じて示すので, それに従って予習をすること。		

授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	ガイダンス	F
第2回	Social Structure翻訳の検討	B
第3回	OfficeアプリOneNoteの使い方	F
第4回	社会階層のまとめ	B
第5回	グループごとに翻訳の検討 1?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B
第6回	グループごとに翻訳の検討 2?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B
第7回	グループごとに調べ学習とまとめ 1?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B D
第8回	グループごとに調べ学習とまとめ 2?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B D
第9回	グループごとにプレゼンテーションの準備 1?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B
第10回	グループごとにプレゼンテーションの準備 2?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	B
第11回	プレゼンテーション 1?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	C
第12回	プレゼンテーション 2?Democracy in Athens, Learning, The theatre, Sculpture	C
第13回	小テスト, グループごとにディスカッション?古代ギリシアの政治・文化を現代社会と比較して考える 1 (グループ編成替え)	A B
第14回	グループごとにディスカッション?古代ギリシアの政治・文化を現代社会と比較して考える 2	B
第15回	総合的まとめ	B

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/04/05 ~ 2018/06/01		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180587038101	科目番号 / Subject code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Subject	教育と文化 (芸術)COC+ / Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中川 泰 / Nakagawa Tooru, 堀井 健一 / Horii Ken-ichi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中川 泰 / Nakagawa Tooru		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Target students	教育・経済・薬学・水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nakagawa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部美術技術教室209-1		
担当教員TEL/Tel	095-819-2351		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月12:10-12:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	○美術における表現の喜びや感動を学ぶ ○長崎を作品に表現することで、長崎県独自の可能性と課題を考える ○全学モジュール科目の選択科目(モジュール?U)		
授業到達目標/Course goals	1. 日常的な縛りから開放される人間の意義を説明できる 2. 身近な環境との出会いや交流を実現することができる 3. 制作を通して自由な発想と多様な表現方法を獲得する		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons(1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	提出物 [作品] (40%)、提出物 [レポート] (30%)、受講態度 [積極的な参加] (30%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業時に指示する		
キーワード/Key word	現代美術、デザイン、創造、セルフエスティーム		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない 参考書については適宜紹介する		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	実技を実施するので定員は50名以内 ?@原則として全回出席することを単位認定の要件とする ?A問題意識をもって受講して欲しい ?B材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり 、作品完成のために時間外での制作が必要である		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートに ついては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下 さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	準備・事前学習 美術に関心を持ち、楽しみながら学ぶ習慣を日頃からつけておくこと 授業のなかで適宜、具体的な内容について指示する		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	美術表現の意義と役割について	A D
第2回	現代美術の原点と魅力について	A D
第3回	博学連携による実習(1)【特別講師:宮崎 友理子】	B C
第4回	博学連携による実習(2)【特別講師:宮崎 友理子】	B C
第5回	長崎県美術館を巡る(1)	A D
第6回	長崎県美術館を巡る(2)	A D
第7回	美術の可能性を求めて	A D
第8回	非現実的な作品を創る	B C
第9回	岩井俊二作品を観る(1)	A D
第10回	岩井俊二作品を観る(2)	A D
第11回	岩井俊二作品を観る(3)	A D
第12回	岩井俊二作品を観る(4)	A D
第13回	映画鑑賞写真を撮る(1)	B C
第14回	映画鑑賞写真を撮る(2)	B C
第15回	「長崎」をアートすると(1)	B C
第16回	「長崎」をアートすると(1)	C D